☞ 危険度評価実施表実践例

（作業場名　　）　（作業名　　）　（実施　年　月　日）

社長	課長	担当者:	備考

区分（工程、作業現場等）	1．危険性又は有害性の特定				2．危険度の見積もり		3．危険度の評価	4．危険のポイントと危険度低減対策の検討（対策には優先順位）	5．危険度低減措置終了予定年月	6．残留危険対策と未然防止対策（後戻り防止対策も含む）	7．実際の措置状況及び注意特記事項（含管理者指示）
	作業等	災害に至るプロセス			可能性	重大性	危険度レベル				
		○○は、○○と考えて○○の行動をした	ところが○○だったため	○○になった							
荷役装置の点検・整備	油圧シリンダーの点検	私は、フォークにはブレーキがかかっているので落ちることはないと考え、 上昇させたまま、荷役装置のセット油圧を測定しようとしてゲージボードのプラグを外した	ところが、ゲージボードから直接油が噴出したため	フォークが急降下し、その下敷きとなった。	3	4	7（Ⅳ）	**危険のポイント：「予期せぬ場所から作動油が噴出、重量物が落下」** **危険度低減対策：** **①フォークを上昇させないで作業**する方法を考える。 ②フォークを上昇させたまま作業するときは、安全支柱若しくは安全ブロックを必ず使用する。 ③油圧機構の整備に当たっては作業手順の検討を十分に行い、安全措置を講じてから行う。 ④作業指揮者を定めて行う。	1か月以内	①作業手順等安全な作業の進め方について、定期的に教育を行う。 とりわけ、**危険のポイント＝ワナの要点「予期せぬ場所から作動油が噴出」**を全員で共有し、類似した作業や状況について事故予防策を検討し、**見える化**を行う。 ②危険のポイントを軸に危険予知訓練（KYT）の教育、実施を徹底する。	
油圧ショベル修理・整備	アームシリンダ用油圧ホース交換	私は、いつもの経験から固く締まっているものと考え、 ブームに乗り、パイプを差し込んだスパナで油圧ホースのアダプタを緩めようとした	ところが、アダプタが急に緩んだため、	はずみで体制が崩れ、後ろ向きのままブームから転落した。	4	4	8（Ⅳ）	**危険のポイント：「緩んだはずみで、高所から墜落・転落する」** **危険度低減対策：** **①高所作業にならないよう**、ブームを低位置において作業する。 ②やむを得ず高所作業となる場合には、ブームの上に不安定な姿勢で乗らなくて済むよう、高所作業台など足場を設置し、安全帯を使用する。 ③スパナの柄の寸法に見合ったパイプを選び、柄の根元まで十分に差し込んで使用する。	1か月以内	①作業手順等安全な作業の進め方について、定期的に教育を行う。 とりわけ、**危険のポイント「緩んだはずみで、高所から墜落・転落する」**を全員で共有し、類似した作業や状況について事故予防策を検討する。 ②危険のポイントを軸に危険予知訓練（KYT）の教育、実施を徹底する。	
								危険のポイント： **危険度低減対策：**			
								危険のポイント： **危険度低減対策：**			
								危険のポイント： **危険度低減対策：**			

単位作業現場、作業箇所を決める。

実施対象とする作業や場所を選ぶ。
・危険が想定される作業を優先して選ぶ。
・メインの作業だけでなく、それを段取りする途上等で発生する危険に対しても注意し、視野を広く持って取り上げる。

○○は、（必ず**主語**を入れる）
～と考えて（動機的原因）〔言いわけ〕
～した（人間の行動）〔正しいことをしているつもり〕

ところが～だったため（ところがどっこい、動機が通用しない）〔**ワナ**〕

～となった（望ましくない結果を引き起こした）

人間の可能性に関する感覚を数値化したもの。
言葉が重要になることに注意。

起こる可能性のある被害のうち、最悪のものを選ぶ。

単純に足し算をした数値を判定基準表を参照して危険度レベルを見積もる。（どれくらい危険か）

危険のポイント（**ワナ=思惑違いの要点**）を検討し、記入する。

（1）危険源をなくす（2）防護対策を講ずる
（3）手順書の作成や教育等、人間の信頼性向上対策を講ずる、の優先順位で対策を検討する。
（人間は誤りを犯すものであるということを前提として対策を講ずる。）

対策を講じ終わるのに必要な期間、目標。

全ての対策を講じても、なお残る危険について対策を講じておく必要がある。（いったん対策が講じられても**後戻りしてしまう**。）

また、**危険のポイント（ワナ）**から共通点がある不具合事象を想定し、予防策を講じる。全員で共有し、KY等の題材とする。

実際の措置状況、経過を記入。
管理者の指示、特記事項を記入。

危険度評価（兼）判定基準表

（注）**災害の重大性：　起こる可能性のある最悪のものを選ぶ。**

災害の重大性 ＼ 災害の可能性	軽度（不休災害・かすり傷）1点	中程度（1か月未満のもの）2点	重大な（休業1ヶ月以上・一度に多数の被災者）3点	致命的（死亡・永久的な障害）4点
可能性が低い 1点	2（Ⅰ）	3（Ⅰ）	4（Ⅱ）	5（Ⅱ）
可能性があまり高くない 2点	3（Ⅰ）	4（Ⅱ）	5（Ⅱ）	6（Ⅲ）
可能性がある 3点	4（Ⅱ）	5（Ⅱ）	6（Ⅲ）	7（Ⅳ）
可能性が高い 4点	5（Ⅱ）	6（Ⅲ）	7（Ⅳ）	8（Ⅳ）

危険性の判定基準

レベル4（Ⅳ）　⇒　超危険
（絶対に受け入れられない）

レベル3（Ⅲ）　⇒　かなり危険
（受け入れられない）

レベル2（Ⅱ）　⇒　やや危険
（許容可能な）

レベル1（Ⅰ）　⇒　ほぼ危険はない
（無視可能な）

留意点

●三現主義
現地で
現物を見て
現場の人と（現実を知って）

●六項注意
人間は間違いを起こすもの
機械は故障するもの
ありうることは起こること
事故はすきまで起こりやすい
見たくないものは見えない
慣れは危険を麻痺させる